

## 〔資料紹介〕「雪祭」ラッシュフィルム －無形文化遺産部収蔵フィルムとそのデジタル化（3）－

佐野真規

### <はじめに>

現在（2016年3月）、東京文化財研究所無形文化遺産部では組織の前身である芸能部時代に収集・撮影・寄贈された映像フィルムを35点収蔵している。昨年度に続き、今年度はその内から2点をデジタル化して内容調査を行った。本稿ではその映像フィルムの内容について紹介する。

### <デジタル化したフィルムの詳細>

無形文化遺産部での資料の整理番号、タイトルは以下の通りである。

#### 【FILM16-5-1 雪まつり ラッシュ ポジR-1】

#### 【FILM16-5-2 雪まつり ラッシュ ポジR-2】

この映像フィルムは長野県下伊那郡阿南町新野の「雪祭」（重要無形民俗文化財 保護団体：伊豆神社雪祭り保存会）を16mmの白黒で記録した撮影ラッシュと推定される。

芸能部時代に収蔵されたものだが、この資料が収蔵された経緯、映像フィルムが作成された由来など、判別しない事柄が多く、現状では記録が撮影された時期、作成者について確実な情報は得られていない。

当初、このフィルムは岩波映画製作所が制作を請け負った記録映画『雪まつり』（昭和28年（1953））の断片、もしくは未編集フィルムでないかと推測した。当研究所には、三隅治雄氏（無形文化遺産部名誉研究員）がおり、民俗学者の折口信夫氏の指示で岩波映画製作所の撮影の際、現地に立ち会っていたからである。記録映画『雪まつり』は当時の長野県教育委員会、長野県下伊那郡旦開村（現在の阿南町新野）、文化財保護委員会（現在の文化庁）により企画され、岩波映画製作所が制作を請け負い、羽仁進氏が監督をした。今回デジタル化したフィルムの関連性について、三隅氏と羽仁氏に聞き取りを行い、羽仁氏には映像内容確認もしていただいた。

三隅氏によると、岩波映画製作所の撮影に立ち会ったことは確かだが、その撮影ラッシュが残っているというのは知らないとのことであった。また、羽仁氏も、そのような撮影ラッシュが残っているケースは、羽仁氏が制作を行ってきた映画製作の中では、なかったのではないかということであった。実際、岩波映画製作所の『雪まつり』は白黒35mmフィルムで撮影されているが、今回デジタル化した映像フィルムは白黒16mmのポジフィルムである。これが、岩波映画製作所の『雪まつり』の撮影ラッシュであるとするならば、35mmフィルムから16mmフィルムへ焼き直しがあったことになる。完成した映画作品を図書館等映画館施設以外で利用しやすくするために35mmから16mm版を作

成することはありえるが、撮影ラッシュを16mmに焼き直すことは通常の作品製作の工程だとまず行わないため、『雪まつり』（昭和28年）の撮影ラッシュである可能性は低いと言える。

さらに、デジタル化した映像内容を調査したところ、祭事に使われている行灯と思われるものに「昭和35稔 競馬番 晴原定太郎 土屋友春」（原文ママ）と書かれているものがあつた（写真1）。「稔」という字は「年」に通じており（『大漢和辞典』の「稔」項参照）、奉納の際に年号を記す事に鑑みれば、撮影時期は昭和35年、あるいはそれ以降であることはほぼ間違いなく、昭和28年に制作された記録映画『雪まつり』との関連性はないと言えるであろう。また、撮影された時期については、行灯が和紙を付け替えるものである事から、昭和35年より年代が大きくずれていない可能性が高いと言えるのではないかと。

一方、フィルムが入っていたフィルム缶の表面には「雪祭 ラッシュフィルム」と書かれた紙が貼ってあつた（写真2）。それをめくると「NET教育部 ちえの実百科 日本の民家 山形 新潟 NEGA」と書かれており（写真3）、また、フィルムそのものの先端部にも書き込みがあり、「ちえの実百科 雪祭り ポジ R-1」と書かれていた（写真4）。収蔵しているフィルムはネガではなく、もともとあつた別のフィルム缶にポジフィルムを入れ、「雪祭 ラッシュフィルム」と書いた紙を貼って保管していたのではないかとと思われる。NETテレビ（現在のテレビ朝日）の制作物と関連の可能性を考え、フィルム・フィルム缶に書かれている情報から、関連する映像が残っていないかテレビ朝日に問い合わせを行った。結果、先方の調査によると昭和35年頃の「雪祭」、また「ちえの実百科」という番組等あるかどうか分からず、当時の映像は残っていないということであつた。

長野県教育委員会にも映像記録作成についての記録がないか問い合わせたが、教育委員会での作成記録はなかつた。

続いて、「雪祭」の保護団体である伊豆神社雪祭り保存会に情報照会を求めた。保存会の金田昭徳氏に伺つたところ、昭和35年頃の保存会の記録には「NETテレビが昭和35年に『陛下と共に』という番組で放送するために臨時に祭を奉納し、撮影を行った。その祭は2月26日に行われ、放送は3月3日にあつた」と記されているとのことである。

それを受けて、民放放送のアーカイブを行っている公益財団法人放送番組センター放送ライブラリーに問い合わせたところ、当時の資料としては『陛下と共に』に関する記述のある社史等があるものの、関連する映像は残念ながら不明であるとのことであつた。

上記のような調査、推測を行ったが、現状では映像フィルムの来歴、権利等不明確な部分は依然として多く、今後継続して調査をするとともに、広く情報を求める所存である。特に「雪祭」の地元である長野県下伊那郡阿南町地域、保存会の方々へ引き続き映像内容確認調査などを含め、協力を依頼したいと考えている。

## <映像内容>

次に、記録内容について記す。ラッシュフィルムのR-1には映像が36分21秒、R-2には17分45秒あつた。音声の記録はなくサイレントである。フィルムの回転数が安定するまでの部分や、カメラ移動中の意図しない撮影部分、フィルム送りの黒味など、不必要な部分は極力落とされたラッシュフィルム

であり、いくつかの撮影ロールが繋がれているのが、映像上のフィルムのつなぎ目から分かる。R-1、R-2と書かれているものの、祭りの時間軸に沿って順に繋がれているのではなく、フィルムを現像所へ出した際の都合であろうか、一部撮影順が前後して繋がれている。ショットとして意図して撮影されているカットがR-1には253、R-2には116撮影されていた。ただし、同じカメラポジションで時間経過した結果カットが分かれていると思われるもの、風景等のパターン違いを撮影しテイクを重ねたとと思われるものなどもあり、撮影時にカメラ内編集されている節も見受けられるため、「記録時の時間が連続していない」映像を一つのカットとして数えた。

神事、祭りのそれぞれにおいて、撮影機材の都合で一部演者の動作を止めて撮影し、再度動作を繰り返して撮影したと見受けられるところがある。あわせて、映像上のフレームの都合を意図して人物の行動が撮影されているカットも見受けられるため、祭りを行った保存会の協力のもと行われた記録撮影であると推定できる。

記録されている内容詳細とカットについては後掲する表1（雪祭りカット表）のとおりであり、掲載する画像はデジタル化した映像フィルムから切り出しを行ったものである。映像内容の参考として供する。

## <結び>

今回デジタル化したラッシュフィルムは、未編集の映像であるゆえに、当時のフィルム撮影の記録としては比較的長い時間、祭りの様子を見ることが出来る。映像記録として、時代とともに移り変わる無形の民俗芸能の現在との比較・伝承を考える一材料として供せるよう、いまだ不明な撮影の経緯、権利等、継続して調査を進めたい。

今回の資料調査には、長野県教育委員会文化財・生涯学習課、伊豆神社雪祭り保存会、公益財団法人放送番組センター放送ライブラリー、株式会社テレビ朝日、一般社団法人記録映画保存センター（羽仁進氏、村山英世氏）、三隅治雄氏、のご協力をいただいた。結びに感謝を述べたい。

《補注》今回紹介したフィルムとの関連は不明確であるが、無形文化遺産部には「雪祭」を記録したオープンリール（No.31-191）がある。

## <参考文献>

中村浩・三隅治雄 編『雪祭り』東京堂出版 1969年3月

折口信夫全集刊行会 編『折口信夫全集21』1996年11月

折口信夫全集刊行会 編『折口信夫全集28』1997年6月

折口信夫全集刊行会 編『折口信夫全集35』1998年12月

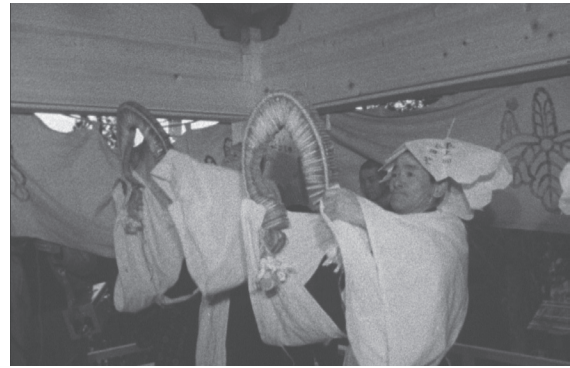
岩波映画製作所製作 羽仁進監督『雪まつり』（映画）1935年

大畑孝子：文責『第33回関東定例研究会報告 社叢学会・國學院大學・ポーラ伝統文化振興財団共催 映像上映と講演 自然環境と祭り・芸能』NPO法人社叢学会ニュース「鎮守の森だより」第37号 2009年1月

長野県下伊那郡阿南町ホームページ（2016年2月閲覧） <http://www.town.anan.nagano.jp/>

表1 雪まつりラッシュフィルム カット表 (○は写真掲載。一部、内容が不特定なものがある)

雪まつりラッシュフィルム カット表(*○は写真掲載)	
R-1	カットNo. 記録内容
	1 祭りの行列が山間部を歩く
	2 11にカメラが近寄ったもの
	3 畑
	4 山肌の畑
	5 参道の松明(天狗役)
	6 松明を持つ天狗役
	7 松明を持つ役、参道の上にも
	8 参道を登る奉納行列、天狗役が松明をかざす
	9 神社境内に行列が入ってくる
	10 競馬番と記された行灯
○	11 ササラ舞
	12 ササラ舞
	13 ササラ舞
	14 ササラ舞
	15 太鼓と笛の奏者
	16 舞を奉納している神楽殿、外観
	17 神社付近の木立
○	18 神婆
	19 神婆
	20 神婆
	21 神婆
	22 神婆
	23 神婆
	24 神婆
	25 神婆
	26 神婆をみる衆目
	27 神婆をみる衆目
	28 神婆をみる衆目
	29 神婆
	30 神婆
	31 神婆
	32 神婆
	33 神婆
	34 神婆をみる衆目
	35 神婆をみる衆目
	36 神婆をみる衆目
	37 炬燵で酒を酌み交わす村人(テント設営か)
	38 たき火
	39 たき火
○	40 御参宮
	41 御参宮
	42 御参宮
	43 御参宮の鼓
	44 御参宮
	45 御参宮
	46 御参宮の笛奏者
○	47 論舞1?
	48 論舞1?
	49 論舞1?
	50 論舞2?
	51 論舞2?
	52 論舞2?を見る衆目
	53 論舞2?
	54 論舞2?の太鼓演奏
	55 論舞2?の笛演奏
	56 露店とみられる、集まる子供ら
	57 神楽殿外観、神事の最中
	58 万歳楽?
	59 万歳楽?
	60 万歳楽?
	61 万歳楽を見る人たち(神楽殿内)
	62 太鼓と笛の演奏(神楽殿内)
	63 草鞋を結ぶ様子
	64 万歳楽?
	65 万歳楽?
	66 万歳楽?
	67 万歳楽?の足元



11. ササラ舞



18. 神婆



40. 御参宮



47. 舞1



	68	神楽殿に集まった村人ら
	69	神楽殿に集まった村人ら
	70	順の舞
	71	順の舞
	72	順の舞
	73	順の舞
	74	順の舞
	75	順の舞
	76	らんじょう
	77	らんじょう
○	78	らんじょう
	79	らんじょう
	80	らんじょう
	81	らんじょう
	82	らんじょう
	83	らんじょう
	84	らんじょう
	85	らんじょうの中、船
	86	らんじょう
	87	らんじょう
	88	らんじょう
	89	らんじょう
	90	船に小松明が灯される1(途中で止める)
	91	船に小松明が灯される2(別アングル)
○	92	船が行き来する
	93	船が行き来する
	94	船が行き来する
	95	船が行き来する
	96	大松明に点火
	97	火のついた大松明
	98	燃える大松明
	99	燃える大松明
	100	大松明のふもとから庭能へ
	101	大松明のふもとから庭能へ
	102	大松明のふもとから庭能へ
	103	燃える大松明
○	104	さいほう
	105	さいほう
	106	さいほう
	107	さいほうを見る衆目
	108	さいほう
	109	さいほうを踊る足元
	110	さいほうを踊る足元
	111	さいほうを踊る足元
	112	さいほう
	113	さいほう
	114	燃える大松明
	115	燃える大松明
	116	人でごった返す境内
	117	人でごった返す境内でのさいほう
	118	人でごった返す境内でのさいほう
	119	人でごった返す境内でのさいほう
	120	人でごった返す境内でのさいほう
	121	人でごった返す境内でのさいほう
	122	人でごった返す境内でのさいほう
	123	見物する衆目
	124	見物する衆目
	125	山間にみえる遠野の集落
	126	山間にみえる遠野の集落
	127	山々の様子
	128	山間にみえる遠野の集落
	129	山間にみえる遠野の集落
	130	山間にみえる遠野の集落
	131	雪道
	132	雪の畑
	133	雪の畑
	134	伊豆神社の登り旗
	135	伊豆神社の登り旗
	136	伊豆神社の登り旗
	137	競馬番の行燈
	138	競馬番の行燈
	139	燃え残った薪
	140	燃え残った薪、周りの木々
	141	周りの木々
	142	木々の間から見える集落
	143	祭りの行列が歩く
	144	祭りの行列が歩く
	145	祭りの行列が歩く
	146	神社の境内
	147	お滝入り



78. らんじょう



92. 船が行き来する



104. さいほう



148. お滝いり

○	148	お滝入り
	149	お滝入り
	150	お滝入り
	151	お滝入り
	152	お滝入り
	153	お滝入り、花傘をかぶった人たち
	154	お滝入り、花傘をかぶった人たち
	155	お滝入り
	156	お滝入りの道具類
	157	集落内の通りと家並み
	158	集落の田んぼ
	159	集落の田んぼ
	160	水車
	161	水車
	162	水車と氷
	163	水車と氷
	164	神社の参道
	165	神社の参道
	166	神社の参道
	167	神社本殿
	168	本殿の屋根
	169	本殿の屋根
	170	諏訪神社の看板
	171	祭りの行列が神社からでる
	172	祭りの行列が神社からでる、カメラ近づく
	173	祭りの行列が神社からでる、カメラ近づく
	174	供物を献ずる
	175	供物を献ずる
○	176	供物を献ずる
	177	供物を献ずる
	178	供物を献ずる
	179	鍛冶
	180	鍛冶
	181	鍛冶
	182	鍛冶
	183	鍛冶
	184	鍛冶
	185	鍛冶
	186	鍛冶
	187	鍛冶
	188	鍛冶
	189	鍛冶
	190	鍛冶
○	191	鍛冶
	192	鍛冶
	193	鍛冶
	194	鍛冶を見る衆目
	195	鍛冶の太鼓と笛の演奏
	196	鍛冶
	197	しずめと獅子
	198	しずめと獅子
	199	しずめと獅子
	200	しずめと獅子
	201	しずめと獅子
	202	しずめと獅子
	203	しずめと獅子
○	204	しずめと獅子
	205	しずめと獅子
	206	しずめと獅子
	207	しずめと獅子
	208	しずめと獅子
	209	しずめと獅子
	210	しずめと獅子
	211	しずめと獅子の太鼓と笛演奏
	212	しずめと獅子の太鼓演奏
	213	しずめと獅子の太鼓演奏のアップ
	214	しずめと獅子の笛演奏
	215	八幡と駒
	216	八幡と駒
○	217	八幡と駒



176. 供物を献ずる



191. 鍛冶



204. しずめと獅子



217. 八幡と駒

	218	八幡と駒
	219	八幡と駒を見るこども
	220	八幡と駒
	221	八幡と駒
	222	八幡と駒
	223	天狗(鬼舞)
○	224	天狗(鬼舞)
	225	天狗(鬼舞)
	226	天狗(鬼舞)
	227	天狗(鬼舞)
	228	天狗(鬼舞)
	229	天狗(鬼舞)を見る衆目
	230	天狗(鬼舞)を見る衆目、アップ
	231	天狗(鬼舞)
	232	天狗(鬼舞)
	233	天狗(鬼舞)
	234	天狗(鬼舞)
	235	天狗(鬼舞)
	236	天狗(鬼舞)
	237	集落内を通る行列、見物人
	238	集落内を通る行列、見物人
	239	集落内を通る行列、見物人
	240	集落内を通る行列、見物人
	241	集落内を通る行列、見物人
	242	集落内を通る行列、見物人
	243	集落内を通る行列、見物人
	244	集落内を通る行列、見物人
	245	集落内を通る行列、見物人
	246	集落内を通る行列、見物人
	247	集落内を通る行列、見物人
	248	集落内を通る行列、見物人
○	249	集落内を通る行列、見物人
	250	集落内を通る行列、見物人
	251	集落内を通る行列、見物人
	252	集落内を通る行列、見物人
	253	集落内を通る行列、見物人



224. 天狗(鬼舞)



249. 集落内を通る行列、見物人

R-2	カットNO.	記録内容
	1	さいほう(ホッチョウ)
	2	さいほう(ホッチョウ)
○	3	さいほう(ホッチョウ)
	4	さいほう(ホッチョウ)
	5	さいほう(ホッチョウ)
	6	さいほう(ホッチョウ)の足元
	7	さいほう(ホッチョウ)の足元
	8	さいほう(ホッチョウ)の足元
	9	もどき
	10	もどき
○	11	もどき
	12	もどき
	13	もどき
	14	もどきの足元
	15	もどき
	16	もどき
	17	もどき
	18	もどき
	19	もどき
	20	もどき
	21	もどきの足元
	22	もどき
	23	もどき
	24	もどきの笛と太鼓演奏
	25	もどき
	26	もどき
	27	もどき
	28	競馬



3. さいほう(ホッチョウ)



11. もどき



○	29	競馬
	30	競馬
	31	競馬
	32	競馬
	33	競馬
	34	競馬
	35	競馬
	36	競馬
○	37	松影
	38	松影
	39	松影
	40	樽を背負い参道を登る人
	41	樽を背負い参道を登る人
	42	樽を背負い参道を登る人
	43	松影
	44	松影
	45	松影
	46	太鼓演奏
	47	太鼓演奏
	48	笛の演奏
	49	伊豆神社の看板
	50	しょうじっさり
○	51	しょうじっさり
	52	しょうじっさり
	53	しょうじっさり
	54	しょうじっさり
	55	しょうじっさり
	56	しょうじっさり
	57	海道下り
○	58	海道下り
	59	海道下り
	60	海道下り
	61	海道下り
	62	海道下り
	63	海道下り
	64	海道下り
	65	海道下り
	66	海道下り
	67	海道下り
	68	海道下り
	69	海道下り
	70	海道下り
	71	海道下り
	72	海道下り
	73	海道下りを見る衆目
	74	海道下りを見る衆目
	75	海道下り
	76	おくりや?
	77	おくりや
	78	おくりや



29. 競馬



37. 松影



51. しょうじっさり



58. 海道下り



○	79	おくりや
	80	おくりや
	81	おくりや
	82	おくりや
	83	おくりや
	84	おくりや
	85	おくりや
	86	おくりや
○	87	面
	88	面
	89	面
	90	面
	91	面
	92	面
	93	面
	94	面
	95	面
	96	面
	97	面
	98	花傘つくり
○	99	花傘つくり
	100	花傘つくり
	101	花傘つくり
	102	花傘つくり
	103	花傘つくり
	104	薪、燃えのこり
	105	おみくじ
	106	おみくじ
	107	おみくじ
	108	おみくじ
	109	おみくじ
	110	おみくじ
	111	おみくじ
	112	おみくじ
	113	おみくじ
○	114	おみくじ
	115	おみくじ
	116	おみくじ



79. おくりや



87. 面



99. 花傘つくり



114. おみくじ

## Films in the Collection of the Department of Intangible Cultural Heritage and Their Digitization (3): Rush Print of *Yukimatsuri*

SANO Masaki

As of March 2015, the Department of Cultural Heritage of the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo has a collection of 35 positive films that its organizational predecessor, the Department of Performing Arts, collected, filmed, or to which they were donated. Digitization of these films is being continued and their contents are investigated. In the past fiscal year, 2 reels of a film were digitized and their contents were investigated. The present paper introduces these reels.

The film whose reels have now been digitized is the black and white, silent 16mm positive rush film of *yukimatsuri*, a type of performing art expressing people's wishes, fertility being one of them, held in Niino, Shimoina-gun, Nagano Prefecture, which is assumed to have been filmed at around 1960. Since there are many unclear points about this film, such as who is the filmmaker and who is the copyright holder, investigation will continue.

Of the two reels that have been digitized, one is 36 minutes 21 seconds long and the other is 17 minutes 45 seconds long. Details of *yukimatsuri* are recorded. It is hoped that these digitized reels will be of use in comparing the festival then and now and in considering its transmission.



写真1 昭和三十五年の表記がある



写真2





写真 3

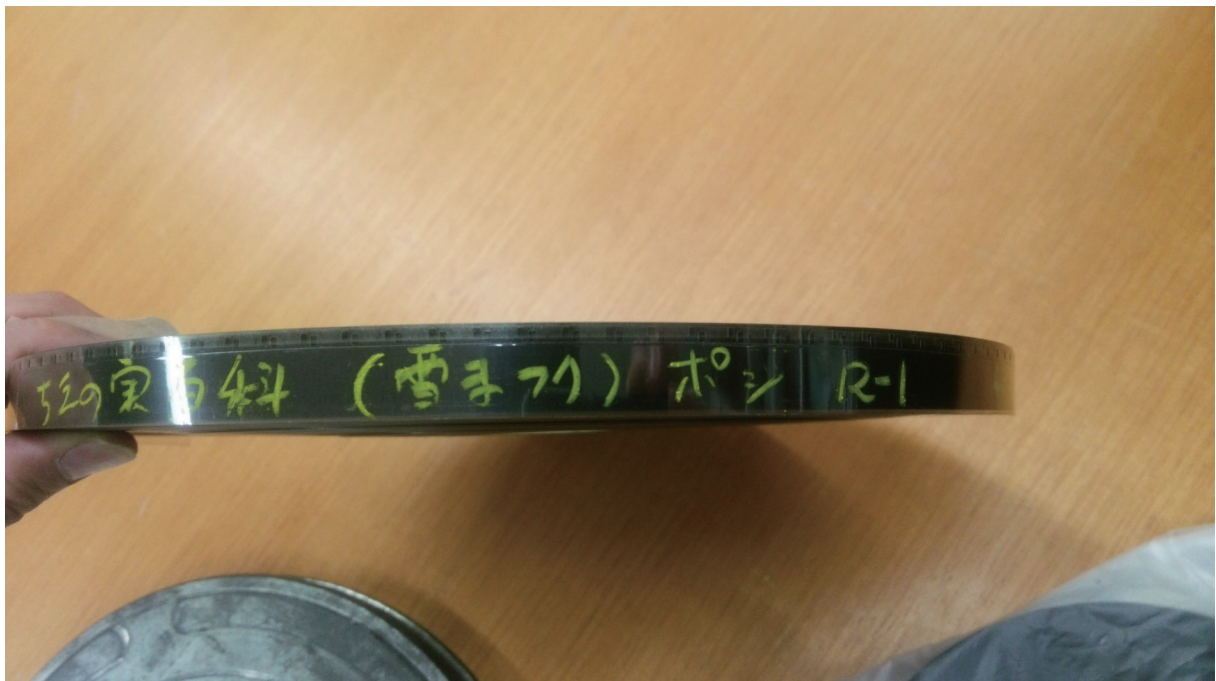


写真 4